



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）5月15日号 No. 1429

目次

■プーチン内閣における経済官庁・閣僚	服部 倫卓	1
■トピックス		10
三菱電機がロシアにサービスセンター開設		10
博報堂がロシアに新会社設立		10
新生銀がロシア株投信を開始		10
ドイチェAMが日本初のロシア債券投信		10
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定		11
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート		11

プーチン内閣における経済官庁・閣僚

はじめに

ロシアでは、メドヴェージェフ新大統領の就任式が5月7日に挙行され、新政権が正式に発足した。そして、以前から予定されていたとおり、メドヴェージェフ大統領はプーチン前大統領を首相に指名、議会下院が圧倒的多数でこれを承認し、8日にプーチン新首相が誕生した。プーチン氏が提案した内閣名簿にもとづき、メドヴェージェフ大統領が12日に政府機構と閣僚人事に関する一連の大統領令を公布、これによりプーチン内閣が発足した。

メドヴェージェフ＝プーチン体制、プーチン新内閣については、我が国のマスコミ等でも多くの論評がなされているが、本誌の読者の中心的な関心事は、ロシアの経済政策がどうなっていくかであろう。そこで、今回の速報では、プーチン内閣の経済官庁・閣僚の問題に焦点を絞って、その基本点を整理するとともに、そのことが経済政策路線に帯びてくるインプリケーションを探ることにする。